

令和8年  
2026年

3月5日  
木曜日

第11903号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料（前納）  
年間 82,080円  
（税込み）  
6カ月 42,120円  
（税込み）

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



茨城県常陸牛枝肉共励会が開催された……P4

CONTENTS

- ▶ [3月の相場見通し] 牛枝肉・牛部分肉……P2～3
- ▶ [社告]「第50回 食肉産業展2026」3月10日から東京ビッグサイトで開催銘柄ポーク好感度コンテスト&MLAとの特別セミナーも実施……P3
- ▶ 茨城県常陸牛枝肉共励会開催、名誉賞に宮本守正さん、キロ5019円でスズチクが購買……P4
- ▶ 1月の豚肉輸出は前年同月比36.5%増、輸出額も増……P5
- ▶ 京都市が大橋亭に感謝状贈呈、近江牛100kgを子ども食堂に寄贈……P5
- ▶ [畜産物卸売価格・2月] 和牛去勢A4価格は前年同期比51円高……P6
- ▶ 鎌倉ハム富岡商会「熟成ロースハム」をリニューアル発売……P6
- ▶ [関東の輸入豚肉現物相場] Fベリーなどタイト、Cは底堅い……P7
- ▶ [関東の国産豚肉現物相場] バラの動きやや鈍化、カタロースは堅調……P7
- ▶ ステーキ宮、複数人で行くほどお得に「春のお祝いステーキフェア」開催……P7
- ▶ [資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉……P8
- ▶ [資料] 畜産物卸売価格の推移……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 4日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 4日……P11

## 注目のヘッドライン

### 【3月の相場見通し】 牛枝肉・牛部分肉

…詳細はP2～3

### 茨城県常陸牛枝肉共励会開催、名誉賞に宮本守正さん、キロ5019円でスズチクが購買

第53回茨城県常陸牛枝肉共励会が4日、東京市場で開催された。

…詳細はP4

**50<sup>th</sup> 食肉産業展**  
Japan Meat Industry Fair 50<sup>th</sup> Anniversary

国内で唯一、**最大級の食肉総合見本市**

第50回 **2026 食肉産業展**  
2026 Japan Meat Industry Fair 50<sup>th</sup>.

会期◎ **2026年3月10日(火)⇒13日(金)**

会場◎ **東京ビッグサイト** 主催◎ 食肉産業展実行委員会  
後援◎ 農林水産省、厚生労働省ほか

事前登録受付中

半世紀の集大成を **未来へつなぐ**

**圧倒的開催規模!**

フード業界が最も注目する  
国内最大規模の総合見本市

アジア最大級の食品・飲料総合展示会  
The 50<sup>th</sup> International Food and Beverage Exhibition  
**FOODEX JAPAN 2025**

同時開催

食肉産業展HPはコチラ ▶ <https://www.shokuniku-sangyoten.jp> 食肉産業展東京事務局 ☎03-6206-0929

## 【3月の相場見通し】牛枝肉・牛部分肉

### 【牛枝肉】和牛4等級は高値、交雑牛も安定した相場

【東京】3月の全国出荷頭数は前年同月に比べ、乳牛、交雑牛は1～3%増加するものの、和牛は3～5%減少し、全体ではやや減少すると予想される。また、東京の上場は7400頭が計画されており、中旬まではそれなりの頭数が上場されるものの、それ以降は少なくなると予想されている。

昨年、一昨年の3月は2月の相場を下回っており、末端の消費もそれほど良くはない。しかし、品薄から2月の相場が崩れなかったことや、焼き材の手当が入ってくると考えると、安定した相場が予想される。交雑牛や和牛3～4等級は、すでに前年3月の相場を上回っている。寒い日が続くか、頭数が少なければ2月より上げていくか。ともあれ、春先に向けた動きが出るのは月後半からとみられている。

【大阪】閑散期で末端販売の売れ行きは良くないものの、出回り頭数が少ないことから和牛相場は今の時期でも高値を保っている。5等級もだが、“総霜降り化”で発生率が低下している4等級も5等級に迫る高値となっている。近年は5月の大型連休向けの仕入れが年々早くなってきており、3月の段階から相場が上伸びやすい一方で、4月の相場があまり伸びないか、むしろ下落する場合もある。このため3月中旬以降の相場動向は特に注視が必要だろう。下旬には高値が見込まれるため、仕入タイミングに気を付けたいところだ。交雑牛も同様の動きとなる。

【福岡】和牛は人気銘柄や産地、上場頭数次第でまちまちだが、全体基調は2月水準のほぼ横ばいか。安定上場で根強い人気を誇る和牛経産は消費者の節約志向を追い風に引き続き底堅い。

交雑牛は上場頭数次第とはいえ、大衆向けの安定実需が下支えし、基調は2月水準でほぼ横ばいとみる。月平均は和牛A5等級で2500～2600円、A4等級で2300～2400円、交雑牛はB3で1550～1600円。和牛経産は品質次第でまちまちだが、A2で1550～1600円とみる。

### 【牛部分肉】焼き材中心に上昇か、バラ系とスソ物は強気

【関東】枝肉相場が末端の実勢より高値で推移

している。また、3月下旬から小売では棚替えが始まり、スライス物から焼き肉に切り替えが進むとみられている。すでにバラ系の引き合いもみられ、一部卸では唱え値を上げている。

前半はイベントもなく「耐える時期」(卸)だが、荷余り感のあるカタロースなどの冷凍の仕込みなど調整が図られている。また、和牛肉需要緊急拡大対策を活用した販促などが計画されているようで、一部量販店では産地フェアや年度末に合わせた特売が予定されている。輸入物の現地高からスソ物需要は高く、特売向けの乳牛や交雑牛の引き合いは強いままだろう。

【関西】和牛枝肉相場はこの時期としては比較的高値を維持しているものの、時期が時期だけに末端販売はそれほど上向いていない。

3月に入ってから動きは良くないと思われるが、大型連休向けの仕入時期が年々早まってきている中で、連休向けの値決めそのものが早まっており、3月中旬から下旬にかけてオファーだけは先行して上昇していきそう。このため、牛部分肉価格は焼き材を中心に上昇見込み。いずれの品種もバラ、モモ、カタ、カタロース、チマキなどがやや強気か。サーロイン、リブロースも、現在はこの時期としては悪くない荷動きだが、価格志向の高まりの中で、3月も動きは鈍いだろう。

### 【輸入牛肉】引き続き荷動き低迷、米豪現地相場高の影響

チルドは引き続き相場高により、ナーベルとキューブロールに若干引き合いがあるが、全体的な荷動きは良くない。売れていないにもかかわらず、相場はむしろ上昇傾向。豪州産で2月の入船状況に乱れがあったことも影響しているが、やはり仕入コストの上昇が要因だろう。フローズンも変わらず相場は高止まりとなっている。

今後の荷動きへの期待は年度明けの4月まで先延ばしとなる。在庫を年度末までにきれいにし、新年度から仕入れを強化するのではという見方がある。また、豚肉がスペインの疾病発生に伴い同国からの輸入が停止したことで国産豚肉の、フローズンだけでなくチルドにも代替需要が発生する事態となった

他、鶏肉も不足感がある。数量的に余裕がないため、しっかりと販売していくことを考えると、牛肉も代替需要の視野に入ってくるのではないかという希望的観測も。米国では現地の牛肉小売価格が前年同月

比20%高(25年12月時点)となっており、米国内でも消費者の牛肉離れの声がかかる。こうした状況が続く中で日本向けの販売価格が安くなるとは考えにくく、当面、相場高は解消されそうにない。

## 【社告】「第50回 食肉産業展 2026」3月10日から東京ビッグサイトで開催 銘柄ポーク好感度コンテスト& MLA の特別セミナーも実施

食肉産業展実行委員会が主催する食肉業界最大のイベント「第50回食肉産業展2026」(<https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>)が3月10～13日(9時30分～17時。最終日のみ16時30分まで)の4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)で開催されます。

「半世紀の集大成を未来へつなぐ」をテーマに開催される「第50回食肉産業展」では、食肉関連製品および食肉処理・加工・流通・販売にかかわる機器・システム・資材を総合的に紹介する。また、えりすぐりのブランド豚が集結する「銘柄ポーク好感度コンテスト」においては、国産部門に加え、当イベント初の試みとして輸入部門も新設。さらに、FOODEXステージでは、50回を記念し、MLA(ミート・アンド・ライブストック・オーストラリア)の特別セミナーも実施いたします。最新技術と世界の食肉トレンドが一堂に会するこの機会に、ぜひご来場ください。

なお、「食肉産業展」にご来場の際は、事前登録が必要となります。QRコード(上写真)から登録をお願いいたします。登録後は、同時開催のFOODEXにも入場可能です。

【第19回国産銘柄ポーク好感度コンテスト&第1回輸入ブランドポークコンテスト】開催日時=3月10日(国産11～12時30分、輸入14～15時30分)▷3月11日(輸入11～12時30分、国産14～15時30分)▷3月12日 コンテスト表彰式(13～14時)▷会場=東京ビッグサイト東7ホール(特設ブース)

銘柄ポークを来場者にご試食いただき、ブラインドで審査する人気イベントが2年ぶりに復活。今年は、国産銘柄ポークに加え、「輸入ブランドポークコンテスト」も初開催いたします。来場者はどなたでも参加可能です。出品銘柄リストについては食肉産業展ウエ

ブサイトでご確認ください。

【食肉産業展×MLA特別セミナー】開催日時=3月11日15～16時▷会場=FOODEXステージ(西展示棟アトリウム)

食肉産業展開催50回の節目を記念し、FOODEXステージにおいて、MLAと特別セミナーを開催します。食肉産業展50回記念特別企画「安全性・多様性・エシカルが交差する“今”のオージーミート～グラス&グレイン&ラムを食べ比べ～」と題し、MLAの三橋一法フードサービス・シニアマネジャーにご登壇いただき、食肉通信社からの生取材に答えていただきます(下写真)。また、参加者の皆さまには実際に3種類のオージーミート(オージービーフのグラス・グレイン、オージーラム)の食べ比べを行っていただきます。なお、本セミナーに参加される場合は、来場事前登録を行った後、事前に下記URLからの参加申し込みが必要となります。

<https://foodex.jma.or.jp/seminar/foodex.html>



事前登録はこちら



## 茨城県常陸牛枝肉共励会開催 名誉賞に宮本守正さん、キロ5019円でスズチクが購買

第53回茨城県常陸牛枝肉共励会が4日、東京市場で開催された。共励会では、雌12頭、去勢67頭の合計79頭(このうち「常陸牛 煌」に6頭が認定)が上場され、名誉賞に宮本守正さんの出品牛(去勢、枝肉重量639kg、格付A5、BMSNo.12、ロース芯面積108cm<sup>2</sup>、バラの厚さ10・9cm、歩留まり基準値81・0)、最優秀賞に栗原幹夫さんの出品牛(去勢、700kg、A5、BMSNo.12、117cm<sup>2</sup>、11・0cm、80・9)が輝き、それぞれキロ当たり5019円、3001円で(株)スズチクが競り落とした。

前日には、常陸牛関係者による前夜祭を開催。初めに、茨城県常陸牛振興協会の大和田晃会長(中央写真)が主催者代表のあいさつを務め「常陸牛の販売頭数は令和2年から6年連続で1万頭を達成した。生産者を中心としたオール茨城での取り組みの成果である。昨年11月から出荷月齢基準を27カ月以上に統一した。全国有数の和牛ブランドの中から差別化された常陸牛を選んでもらえるような銘柄となるよう、今後も取り組んでいきたい。明日は、生産者の皆さまが手塩にかけて育てた出品牛について、どうか高値で取引いただきたい」と呼びかけた。

続いて、来賓あいさつでは茨城県農林水産部畜産課の石井貴茂技佐、東京食肉市場(株)営業本部牛肉営業部の早瀬政貴部長、JA全農ミートフーズ(株)東日本営業本部牛肉営業部の青木史推部長、日本食肉格付協会の大野高志会長が祝辞を贈った。

乾杯のあいさつでは、藤井商店の藤井勲社長(下写真)が共励会の成功を祈念し「買参人の方には、高く、高く、高く買ってもらい、常陸牛を盛り上げていただきたい」と述べ、結束を高めた。

共励会当日、競り後に褒賞授与式を開催。冒頭、茨城県常陸牛振興協会の橋本武二副会長は「畜産を取り巻く関係は大変厳しいが、消費者に喜んでもらえるような牛肉づくりを目指して精進してきたことで、常陸牛の良さが少しずつ浸透してきたように思う。全国の和牛ブランドが300以上あるといわれる中、茨城県では選ばれる銘柄牛肉を目指し、生産から出口までオール茨城体制で取り組んでいる」とあいさつ。審査講評では、名誉賞について「切開面の筋肉、バラ



ンスは非常に充実し、前駆、中駆、後駆のどこをみても充実した姿はまさに芸術品と呼べる仕上がりだった。また、肉質面では脂肪交雑が隅々まで行き渡った枝肉で、艶やかな光沢、キメ細かさや脂肪交雑の質の高さに驚かされた」とたたえた。

その他の受賞牛出品者は次の通り(枝肉重量、格付、BMS、単価、購買者)

優秀賞1席 高萩畜産(608kg、A5、BMSNo.12、3189円、スズチク)▷同2席 中島牧場(622kg、A5、BMSNo.12、2999円、スズチク)▷同3席 新妻洋治(582kg、A5、BMSNo.12、2953円、乙川畜産食品)▷優良賞 小堀畜産(481kg、A5、BMSNo.12、2896円、富作商店)、安達牧場(594kg、A5、BMSNo.12、3062円、桑原)、古沢畜産(600kg、A5、BMSNo.12、3056円、スズチク)、大和(697kg、A5、BMSNo.12、2860円、丸富商店)、矢内邦男(582kg、A5、BMSNo.12、3048円、ミヤミート)、茨畜連PF鉾田牧場(640kg、A5、BMSNo.12、2884円、G-7ミートテラバヤシ)、宇都木孝浩(545kg、A5、BMSNo.12、3018円、スズチク)



## 1月の豚肉輸出は前年同月比36・5%増、輸出額も増

財務省貿易統計による1月の国産豚肉輸出量は115t(前年同月比36・5%増)と前年同月比で増加した。前月比では25・6%減少した。輸出先国は合計5カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計100t(36・5%増)。次いでシンガポール、マカオ、タイ、ベトナムとなった。輸出額は合計1億5657万円(38・1%増)となった。キロ当たり輸出単価は1361

円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計119t(前年並み)。輸出先では香港が最も多く94t、次いでベトナムが24tで、香港への輸出分のうちモモ肉、ムネ肉は34t(約2・7倍増)となった。キロ当たり輸出単価は531円。

豚肉輸出の表

単位：キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2025年7月	926	65,763	922	23,075	1,306	6,483	1,559	100,034
8月	2,662	98,277	193	38,779	4,858	1,919		146,688
9月	2,352	95,998		64,412	1,651	3,848		167,661
10月	799	105,071	225	8,921	11,911			125,727
11月	1,675	127,535		58,124	5,050	5,545		198,103
12月	3,855	107,738	421	38,244	2,444	1,823	117	154,642
2026年1月	293	99,211	243	11,831	1,963	1,539	—	115,080
前年同月比	35.6%	137.7%	—	111.0%	424.9%	501.3%	—	136.5%
2026年計	293	99,211	243	11,831	1,963	1,539	0	115,080
前年同期比	35.6%	137.5%	—	111.0%	424.9%	501.3%	—	136.5%

## 京都市が大橋亭に感謝状贈呈、近江牛100kgを子ども食堂に寄贈

創業明治27年の「総本家 肉の大橋亭」(大橋商事(株)、京都市東山区、大橋秀之社長)は3日、京都市子ども若者はぐくみ局から福井弘局長、子ども若者未来部子ども家庭支援課の渡邊隼課長、田口千誉企画係長を本社に迎え、近江牛を市内の子ども食堂に寄贈したことに対する感謝状贈呈式が行われた。

同社からの子ども食堂への寄贈は今回が3回目。昨年のクリスマスの時期に合わせ近江牛のバラスライス100kgが贈られた。今回の贈呈式には同社から大橋社長、大橋亮太郎専務、大橋進一郎常務、松木和一営業部係長が出席。松井孝治市長(代理=福井局長)から大橋社長に感謝状が手渡され、出席者による歓談が行われた。

福井局長は「貴社が加盟する京都市食肉青年会からも年末、市内施設に牛肉を寄贈していただいております。昨年で61回を迎えた。子どもたちも社会から支え



ていただいていることを実感できる機会でもあり、大変ありがたいことで感謝申し上げたい」と謝辞。

感謝状を受け取った大橋社長は「子どもたちに対し、今回も近江牛を届けることができたのは非常に良かった。組合のご協力もあって寄贈させていただいた。京都市や京都府、国などと連携し、今後もしっかりと地域に根付いて商売を頑張って、可能な限り継続していきたい」と謝辞を述べた。

## 【畜産物卸売価格・2月】和牛去勢A4価格は前年同期比51円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた2月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は127万3300頭(前年同月比1・3%減)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が629円(5円安)。成牛のと畜頭数は7万7700頭(5・6%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2341円(51円高)、交雑牛B3が1619円(90円高)となった。

〔豚〕全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が5万9988頭(17・6%増)、中旬が5万6411頭(3・0%減)、下旬が7万1425頭(33・5%増)。東京の価

格は上旬が593円(95円安)、中旬が679円(60円高)、下旬が606円(6円安)となった。

〔牛〕全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が4401頭(12・8%増)、中旬が3381頭(16・1%減)、下旬が4115頭(15・0%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2301円(25円高)、中旬が2342円(51円高)、下旬が2444円(142円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1622円(71円高)、中旬が1612円(91円高)、下旬が1626円(104円高)となった。

## 鎌倉ハム富岡商会「熟成ロースハム」をリニューアル発売

ハム・ソーセージの製造・販売を行う(株)鎌倉ハム富岡商会(神奈川県鎌倉市、高梨正広社長)は、看板商品の一つである「熟成ロースハム」の 슬라이ス厚を見直し、価格は据え置きで重量を約10%増量するリニューアルを実施(上写真)。同商品は、3月上旬から順次切り替えを行い、全国で発売を開始する。

同社は1921年にロースハムの製造を開始し、今年で105年を迎える。同商品は時代の変化やお客のニーズに合わせて形を変えながら、好評を博している。長年愛される同商品について、お客へアンケート調査を実施したところ、「調理せずそのまま食べておいしい」「ハムを食べた時の香りが良い」「しっとりとした肉本来の食感が味わえる」といった声が上位を占めた。この結果から、加熱せずにそのまま食べた際の「しっとり感」と「豊かな香り」が、お客にとって最大の魅力であると再認識し、その強みをさらに引き出し、肉本来の風味をより深く味わってもらうために、スライスの厚みを見直すリニューアルを決定した。

同商品は、伝統の調味液に豚ロース肉を7日間以上漬け込み、肉の状態を見極めながら手作業で仕上げる「手仕込み製法」によって、肉のうまみと豊かな香りを引き出している。今回のリニューアルでは、このこだわりの製法はそのままに、スライスの厚みを従来の約1・9mmから約2・1mmへと変更。わずか0・2mmの

違いだが、厚みが増すことで、かむたびに豊かな香りが口いっぱいに広がる。また、厚くした分だけ重量は約10%アップ(内容量70g)となるが、価格は据え置きで提供としている。

また同社で

は、こうした定番商品の改良を続ける一方で、125年の歴史の中で生まれた「過去の名作」を現代の食卓に届ける新しい取り組みも行っており、現在、応援購入サービス「Makuake」で、大正13年に販売されていた幻のメニュー「ハムライスの素」(下写真)を現代版として復刻し、先行販売するプロジェクトを実施中。同社の熟成ももハムをぜいたくに使用しており、ご飯と炒めるだけで手軽に大正ロマンあふれる洋食店の味を楽しめる。「熟成ロースハム」と合わせ、同社の伝統と進化を感じられるプロジェクトとなっている。URL=[https://www.makuake.com/project/kamakuraham\\_tomioka/](https://www.makuake.com/project/kamakuraham_tomioka/)



## 【関東の輸入豚肉現物相場】 F ベリーなどタイト、C は底堅い

【フローズン】全体的な荷動き自体はそれほど活発ではない。ただ、引き続き欧州産を中心にベリーやカラーといったアイテムについては逼迫した状況が続いており、需給はタイト。

【チルド】カナダ産の入船遅れの影響で一時はスソ物を中心に需給が逼迫したが、その後、遅れていた分が入ってきたことから、逆にダブついた状況もみられた。現状の引き合い自体はそれほど強いわけではなく、需給はやや緩んだが、ベリーを中心に全体的な荷動きは底堅い。

【輸入豚肉現物相場】 (関東仲間冷蔵庫並し)

		キロ/円、取扱量		
	輸入元	部位	相場	気配
フローズン	米国産	クッションモート	730中心	→
		テンダーロイン	840中心	→
	カナダ産	ショート・ボックス	790中心	→
		ウ デ モ モ	790中心	→
	デンマーク産	ベリー	玉なし	→
		カラー	玉なし	→
		ロインMM テンダーロイン	880中心 880中心	→ →
	フランス産	シートベリー	玉なし	→
		カタローズ	玉なし	→
	チルド	米国産	ロイン (FLON)	770中心
CCロイン			770中心	→
テンダーロイン			1,080中心	→
山付ベリー			1,250中心	→
カナダ産		ボックス テンダーロイン ベリー	820中心 1,080中心 1,220中心	→ → →

## 【関東の国産豚肉現物相場】 バラの動きやや鈍化、カタローズは堅調

3月に入り、気温も春に向けてさらに上昇基調となる中で、鍋物需要は鈍化。カタローズは堅調に推移しているが、バラの引き合いは一時期に比べて鈍ってきた。一方、ウデやモモといったアイテムの荷動きは良化傾向。店頭でもスライス系のアイテムから、小間やひき材中心の展開が増えている。

フローズンは引き続きバラやカタローズには引き合いがみられる。スソ物にもそれなりに荷動きがみられるが、ロースなどの荷動きは鈍い。今後

は行楽・イベントシーズンに向けて徐々にスペアリブの引き合いも増えてくるか。

関東の国産豚カット肉相場

生鮮物		円/キロ
部位	相場	
カタローズ	1,050~1,150	
ウデ	780~800	
ロース	1,000~1,050	
バラ	1,080~1,180	
モモ	780~800	
ヒレ	980~1,020	

冷凍物		円/キロ
部位	相場	
カタローズ	970~1,020	
ウデ	730~750	
ロース	950~980	
バラ	1,000~1,030	
モモ	730~760	
ヒレ	920~960	

## ステーキ宮、複数人で行くほどお得に「春のお祝いステーキフェア」開催

コロナイドグループの(株)アトム(横浜市、植田剛史社長)が展開する「ステーキ宮」は10日から、チラシを持参、または公式HP該当ページを提示したお客様限定で「春のお祝いステーキフェア」を実施する。

3~4月は卒業式や入学式など祝い事が多く、家族で外食する機会も増える季節。そんな季節に同店からも“おめでとう”を伝えるべく実施する同フェア。来店人数で割引額が変わるので、家族での食事ももちろん、友人同士の集まりにもお勧め。フェア概要は以

下の通り。

フェア内容 1~2人での来店で会計の合計から10%OFF、3人での来店で会計の合計から15%OFF、4人以上での来店で会計の合計から20%OFF▷期間 3月10日~4月26日▷利用条件 該当のチラシを持参または公式HP該当ページを提示▷実施店舗 ステーキ宮全店(宮崎大島店、姫路大津店を除く)

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 <輸入牛肉>

(令和8年2月1日~2月15日)

(単位:キロ当たり円、税込み、重量 kg)

		首都圏					近畿圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,668	2,668	2,675	2,670	7,286	2,484	2,484	2,754	2,549	1,048
	ショートプレート	1,366	1,404	1,470	1,414	59,137	1,350	1,361	1,361	1,360	28,244
	リブアイロールリップオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	20	-	-	-	-	87
	チャックリブ	-	-	-	-	525	-	-	-	-	231
	ストリップロイン	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	2,646	2,646	2,646	2,646	4,178	-	-	-	-	429
	ショートプレート	1,080	1,123	1,134	1,116	59,134	994	1,080	1,129	1,045	49,151
豪州チルド	チャックアイロール	2,268	2,268	2,268	2,268	2,490	-	-	-	-	-
	チャックロール	-	-	-	-	-	1,998	1,998	2,231	2,067	3,103
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	147
	クロッド	1,080	1,706	1,706	1,531	1,441	1,566	1,631	1,728	1,658	3,787
	ポイント&ブリスケット	1,750	1,750	1,750	1,750	1,091	-	-	-	-	80
	ナーベル&ブリスケット	1,458	1,527	1,527	1,514	1,012	-	-	-	-	-
	チャックショートリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	17	-	-	-	-	259
	ストリップロイン	3,262	3,262	3,262	3,262	3,639	-	-	-	-	405
	テンダーロイン	5,184	5,994	6,210	5,939	1,651	-	-	-	-	-
	トップサイド	1,825	1,922	1,974	1,916	3,422	1,922	2,009	2,106	1,982	3,049
	シックフランク	-	-	-	-	848	-	-	-	-	22
	D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
アウトサイド	1,771	1,771	1,771	1,771	1,168	-	-	-	-	380	
取引重量合計		147,112					90,461				
		中京圏					九州圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,646	2,646	2,700	2,651	1,238	2,430	2,592	2,916	2,578	6,000
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	チャックリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
米国F	チャックアイロール	-	-	-	-	-	2,835	2,981	2,992	2,942	2,008
	ショートプレート	1,177	1,220	1,242	1,217	2,237	1,110	1,110	1,110	1,110	85,236
豪州チルド	チャックロール	-	-	-	-	71	-	-	-	-	154
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロッド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ポイント&ブリスケット	-	-	-	-	534	-	-	-	-	
	ナーベル&ブリスケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	キューブロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ストリップロイン	-	-	-	-	100	-	-	-	-	161
	テンダーロイン	-	-	-	-	149	-	-	-	-	
	トップサイド	1,987	1,987	2,030	1,999	3,228	-	-	-	-	570
	シックフランク	1,986	2,117	2,118	2,069	1,410	-	-	-	-	
D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
アウトサイド	-	-	-	-	309	-	-	-	-		
取引重量合計		9,276					94,129				

※豪州産の価格はすべてグレインフェッド・ミドル。

## 畜産物卸売価格の推移

(令和8年2月)

単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上		牛肉			全国と畜 頭数		鶏	鶏肉 東 東	
	東京		東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
7年1月	598	5,960	2,234	1,523	1,072	1,404,118	68,120	268	770	422
7年2月	634	4,214	2,290	1,529	1,109	1,290,095	62,269	315	772	415
上旬	608	2,105	2,278	1,551	1,137	51,019	3,908	313	776	417
中旬	619	2,358	2,291	1,521	1,120	58,139	4,090	315	772	414
下旬	612	1,751	2,302	1,522	1,130	53,466	3,578	317	768	413
8年1月	582	5,567	2,230	1,587	1,234	1,410,448	63,297	310	835	545
8年2月	629	5,368	2,341	1,619	1,289	1,273,300	77,700	313	844	535
上旬	593	1,964	2,301	1,622	1,285	58,968	4,401	310	846	538
中旬	679	2,058	2,342	1,612	1,303	59,411	3,981	313	848	534
下旬	606	1,346	2,444	1,626	1,248	71,425	4,115	320	839	530
1日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2日(月)	575	209	2,247	1,604	1,285	65,600	4,650	310	846	539
3日(火)	587	318	2,306	1,613	-	68,300	4,450	310	843	539
4日(水)	649	177	2,316	1,669	-	65,200	4,590	310	-	-
5日(木)	589	350	2,306	1,613	-	67,300	4,100	310	840	539
6日(金)	585	327	2,308	1,590	-	67,500	4,260	310	842	534
7日(土)	-	-	-	-	-	4,500	-	-	852	535
8日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9日(月)	578	269	2,324	1,588	-	68,200	4,090	310	848	541
10日(火)	605	294	2,296	1,653	-	72,300	4,650	310	854	542
11日(水)	-	-	-	-	-	22,500	500	-	-	-
12日(木)	626	215	2,260	1,591	-	72,600	4,010	310	845	537
13日(金)	591	332	2,305	1,610	-	67,200	4,910	310	836	529
14日(土)	-	-	-	-	-	600	-	-	850	532
15日(日)	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
16日(月)	576	275	2,368	1,589	-	68,400	4,710	310	850	538
17日(火)	605	310	2,349	1,633	-	69,500	4,490	315	848	536
18日(水)	627	175	2,373	1,620	-	68,600	4,660	315	-	-
19日(木)	612	189	2,353	1,652	1,315	68,600	3,600	315	848	536
20日(金)	881	560	2,397	1,590	1,301	69,300	4,140	315	842	533
21日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	851	536
22日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23日(月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24日(火)	615	278	2,374	1,639	-	74,500	4,990	315	844	536
25日(水)	633	340	2,434	1,613	1,248	72,500	4,060	315	-	-
26日(木)	612	360	2,447	1,631	-	70,600	3,790	325	837	535
27日(金)	589	368	2,473	1,614	-	67,900	4,260	325	845	534
28日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	817	509

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜種のと畜頭数からの推計値  
 注2) 畜月の価格及び頭数は総値  
 注3) 牛肉の価格は、生体及び屠入の加重平均(全て現産畜)  
 注4) 「-」は取引無し  
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込み価格、鶏肉・鶏肉は税抜き価格

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月4日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,352	2,766	2,429	-	-	
		安値	2,377	2,392	2,289	-	-	
		平均	2,738	2,549	2,355	-	-	
	101頭	頭数	85	14	2	-	-	
		雌 B	高値	-	-	-	-	-
			安値	-	-	-	-	-
	平均		-	-	-	-	-	
	-頭	頭数	-	-	-	-	-	
		去 A	高値	5,421	2,565	2,398	-	-
			安値	2,448	2,263	2,159	-	-
	平均		2,751	2,479	2,317	-	-	
	184頭	頭数	155	26	3	-	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-		
交雑牛	雌 B	16頭	平均	-	1,689	1,662	1,574	-
		頭数	-	3	9	4	-	
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-	
	去 B	7頭	平均	-	1,626	1,653	1,616	-
		頭数	-	1	5	1	-	
去 C	1頭	平均	-	-	1,626	-	-	
頭数	-	-	1	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	349 404	841 839	- 220.5	(競り)	(相対)	
				-	16	76

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,693	1,881	1,761	1,666	-
	B	-	1,783	1,708	1,525	1,440
和 去	A	2,611	-	-	1,787	-
	B	-	-	-	1,601	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,058
	C	-	-	-	1,173	1,038
乳 去	B	-	-	-	1,339	1,306
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,785	1,671	1,609	1,504	1,214
	C	-	-	1,619	1,514	-
交 去	B	1,844	1,713	1,658	1,576	-
	C	-	1,500	1,568	1,544	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	670	691	636	702	562
	安値	624	596	562	443	224
	平均	652	617	595	558	456
	頭数	( 4)	( 198)	( 307)	( 191)	( 139)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	516
	安値	-	-	-	-	516
	平均	-	-	-	-	516
頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( 16)	

[大阪食肉卸売市場] 3月4日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,547	2,260	2,129	-	-
(頭数)	( 7)	( 7)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( 1)	( -)
和 去 A	2,595	2,303	2,115	-	-
(頭数)	( 16)	( 1)	( 1)	( -)	( -)
B	-	2,172	-	-	-
(頭数)	( -)	( 1)	( -)	( 1)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,665	1,642	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,848	1,728	1,674	-
C	-	-	1,781	-	-
豚	-	613	613	551	485

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	3月4日	3月3日	(3月累計)
豚	66,500	67,100	199,400
成牛計	4,500	4,460	13,560
和牛雌	1,100	1,150	3,280
和牛去勢	1,230	1,300	3,950
乳牛雌	700	640	1,710
乳牛去勢	410	460	1,430
交雑雌	540	430	1,480
交雑去	510	480	1,700

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 3月4日

東京	1,627 円	(前日 1,623 円)
大阪	1,643 円	(前日 1,722 円)

[豚・全農建値] 3月4日

上	中	取引頭数	市況
616 円	597 円	1,137 頭	続伸

と畜 売買	牛 91 頭 牛 64 頭	豚 106 頭 豚 61 頭	牛概況 豚概況	もちあい 反発
----------	------------------	-------------------	------------	------------

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月4日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	594 (594)	- (-)	5,594	-	もちあい
仙台 [中]	603 (524)	548 (454)	473	91	急反発
栃木 [地]	618 (-)	568 (-)	1,564	60	反発
茨城 [地]	609 (599)	593 (576)	1,443	651	続伸
群馬 [地]	608 (610)	535 (538)	1,954	474	強含み
さいたま [中]	619 (616)	613 (608)	132	136	強もちあい
東京 [中]	617 (604)	595 (594)	841	839	上伸
横浜 [中]	612 (607)	585 (586)	674	675	上伸
山梨 [地]	692 (703)	600 (695)	173	137	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	576 (573)	555 (547)	905	198	強もちあい
京都 [中]	- (610)	- (578)	-	-	休市
大阪 [中]	613 (522)	613 (524)	106	52	反発
神戸 [中]	- (644)	- (641)	125	-	上場なし
岡山 [地]	609 (608)	592 (588)	323	383	もちあい
広島 [中]	573 (579)	550 (543)	179	51	反落
福岡 [中]	585 (595)	560 (560)	483	160	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 2月25日～3月3日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,440,132 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,153	1,184	1,218	1,192	84,498
うで	723	742	786	741	116,335
ロース	1,022	1,149	1,223	1,137	120,268
ばら	1,185	1,231	1,296	1,233	141,825
もも	743	761	805	764	167,329
ヒレ	988	1,075	1,134	1,067	12,763
セット	935	1,024	1,048	1,002	797,114

◇近畿圏 総重量 707,505 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,175	1,242	1,333	1,255	50,635
うで	670	699	756	708	123,466
ロース	1,058	1,149	1,231	1,144	92,950
ばら	1,177	1,264	1,350	1,277	122,175
もも	691	732	798	733	158,059
ヒレ	1,079	1,188	1,274	1,173	10,911
セット	874	972	1,086	970	149,309

[食鳥正肉日経相場] 3月3日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	772	824	992	187
ムネ	462	515	675	175

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	755	821	1,050	4
ムネ	451	501	610	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月3日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	3日分は6日掲載				
安値					
平均					

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第50回

# 2026食肉産業展

2026 Japan Meat Industry Fair 50th.



半世紀の集大成を  
未来へつなぐ

圧倒的  
開催規模!!



フード業界が最も注目  
する国内最大規模の  
総合見本市

会期

2026年 3月10日(火) ⇒ 13日(金)

会場

東京ビッグサイト

主催 ● 食肉産業展実行委員会

後援 ● 農林水産省、厚生労働省ほか

食肉産業展事務局 株式会社食肉通信社 TEL.03-6206-0929

食肉産業展HP <https://www.shokuniku-sangyoten.jp>



ご来場の際は左のQRコードより、必ず事前登録をお願いします。

[事前登録URL] <https://www.jma-tradeshows.com/foodex/jp/registration.php?exhibitor=EX001472>

同時開催

アジア最大級の  
食品・飲料総合展示会



The 51st International Food and Beverage Exhibition  
FOODEX JAPAN 2026  
51 国際食品・飲料展